

【支援対象者の推移】

調査票にご回答いただいた方のうち、記載内容から支援が必要と判断された方を対象に専任の助産師等による電話やメール支援を行っています。

調査年度	電話支援		回答者の	
	対象者数	支援者の割合	対象者数	支援者の割合
2011年度	1,401人	15.0%	2011年度フォローアップ調査 375人	14.7%
2012年度	1,104人	15.4%	2012年度フォローアップ調査 256人	12.7%
2013年度	1,101人	15.2%	2013年度フォローアップ調査 393人	14.5%
2014年度	830人	11.6%		
2015年度	913人	13.0%		
2016年度	951人	13.0%		
2017年度	799人	12.4%		

【電話による相談内容】

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度～2017年度 (同じ順位でした)	2011年度の フォローアップ	2012年度の フォローアップ	2013年度の フォローアップ
1位	放射線の 心配や影響	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康
2位	母親のころや 身体の健康	子育て関連	子育て関連	子育て関連	放射線の 心配や影響	子育て関連	子育て関連
3位	子育て関連	放射線の 心配や影響	子どものころや 身体の健康	家庭生活に 関すること	子育て関連	子どものころや 身体の健康	家庭生活に 関すること

「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

第34回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

震災後には放射線の心配や影響についての相談が最も多くありましたが、それらの割合は時間の経過と共に徐々に低下しています。2012年度以降、徐々に母親のころや身体の健康に関すること、子育て関連等の割合が増え、上位を占めるようになってきました。

2012年度のフォローアップ調査の要支援率は12.7%と2011年度フォロー（14.7%）より下回りました。2013年のフォローアップ調査では、自由記載の内容から支援が必要と考えられる方への支援を例年よりも広げて実施したため、14.5%となりました。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2020年3月31日